

【復興関連道路】

(主)重茂半島線大沢～浜川目工区 (仮称)大沢トンネルが貫通！

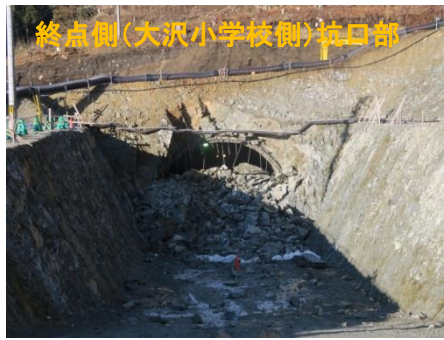
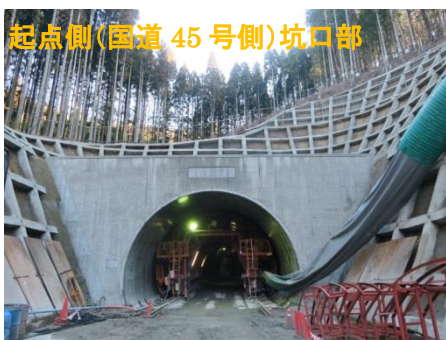
～ つぎこそ！復興のために 造ろう！復興のその先へ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

(仮称)大沢トンネルは、平成28年7月11日に安全祈願祭を開催し、これまで、国道45号側から本体工の掘削工事を進めてきました。

県関係者や工事関係者等約30名がトンネル貫通の瞬間を見届け、貫通後には、宮古土木センターの久保田道路整備課長の音頭により、参加者一同の盛大な万歳三唱で、貫通を祝いました。今後は、トンネル内部をコンクリートで覆う工事や、排水施設の設置等を進めていきます。

今年は、“復興の先を見据えた地域振興に取り組んでいく重要な年”であり、本工区についても平成29年度の供用に向けて全力で事業を推進し、復興の更なる展開につなげていきます。



【(主)重茂半島線大沢～浜川目工区の事業概要】

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

(主)重茂半島線は、三陸復興道路整備事業の「復興関連道路」に位置付け、県が重点的に整備を進めています。このうち、下閉伊郡山田町で事業を進めている大沢～浜川目工区は、多重防災型まちづくり連携推進事業(まちづくり連携道路整備事業)として山田町が施行する漁業集落防災機能強化事業、土地区画整理事業等の復興まちづくりと連携し、東日本大震災津波と同等の津波が発生した場合でも浸水しない道路を整備することにより、高台に整備される3箇所の住宅団地(大沢第1住宅団地、大沢第2住宅団地、浜川目住宅団地)をつなぎ、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能等を確保します。

事業概要図

